

TMS から CUCM へのエンドポイントのプロビジョニングを変更するよう TMS を設定する

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

概要

このドキュメントでは、Telepresence Codec (TC) のエンドポイントを Video Communication Server (VCS) から Cisco Unified Communications Manager (CUCM) に以降する際の設定の変更点と要件、さらにはエンドポイント上のプロビジョニングを Telepresence Management Suite (TMS) から CUCM に変更する際の特定の要件について説明します。移行後は、ソフトウェアアップグレード、ディレクトリ、および登録は CUCM 経由で行われると予想されます。

また、このドキュメントでは、プロビジョニングを TMS から CUCM に変更した際の既知の制限事項の一部についても説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- エンドポイントが TMS でプロビジョニングされ、TMS と次のサービスが正常に動作します。
 - 電話帳サービス
 - TMS が実行するバックアップとリストア
 - TMS からのソフトウェア アップグレード
 - 永続テンプレート

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、TC 7.3.x、TMS 14.6.x、および CUCM 10.x を実行している Cisco Telepresence エンドポイントに基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用されるすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。ネットワークが稼働中の場合は、設定が及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

TMS から CUCM にプロビジョニングを変更すると、TMS と CUCM 上で次の設定変更が必要になります。

手順 1：CUCM 上のエンドポイント用にデバイスを設定します

CUCM 上でデバイスを設定するには、ドキュメントを参照してください。

[CUCM を使用したエンドポイントの管理](#)

手順 2：電話帳またはディレクトリを CUCM 上で設定する必要があります

CUCM は、電話帳の統合のためにユーザ データ サービス (UDS) と TMS の両方をサポートします。

電話帳の統合のために TMS を使用するには、次の手順を実行する必要があります。

- [Product Specific Configuration Layout of the Device] の下の [Alternate Phonebook server type] フィールドで TMS を選択する必要があります
- 代替の電話帳サーバアドレスに TMS の正しい URL (`https://IP_ADDR_OF_TMS/tms/public/external/phonebook/phonebookservice.asmx`) を割り当てるように設定します

[Device] > [Phone] の順に移動します。 画像に示すように、電話機を検索してクリックします。

Alternate phone book server type*	TMS
Alternate phone book server address	https://1[REDACTED]/tms/public/external/phonebook/phonet

手順 3：エンドポイント上のプロビジョニングを TMS から CUCM に変更します

エンドポイント上のプロビジョニングを TMS から CUCM に変更する必要があります。そうすることで、エンドポイントは、登録、電話帳、およびエンドポイントで設定された電話機プロファイルごとのその他の設定要件に関するあらゆる情報を CUCM から取得します。

エンドポイント上のプロビジョニングは、次の手順で変更できます。

- Web インターフェイスを使用します。
1. エンドポイント上で [Configuration] > [System Configuration] > [Provisioning] に移動します。
 2. [ExternalManager] セクションに移動し、[Address] に入力します。これには、IP アドレス、DNS 名、または CUCM クラスターの TFTP サーバアドレスである外部マネージャのパスのいずれかを指定できます。 [Save] をクリックします。
 3. [Mode] に移動し、プロビジョニング モードを CUCM に設定します。 [Save] をクリックし

ます。

System Configuration

Search... Provisioning Refresh Collapse all Expand all

Audio
Cameras
Conference
FacilityService
H323
Logging
Network
NetworkServices
Peripherals
Phonebook Server
Provisioning
RTP Ports Range
Security
SerialPort
SIP
Standby

Connectivity (0 to 80 characters)
HttpMethod
LoginName (0 to 80 characters)
Mode
Password (0 to 64 characters)

ExternalManager

Address (0 to 64 characters)
AlternateAddress (0 to 64 characters)
Domain (0 to 64 characters)
Path (0 to 255 characters)
Protocol

• エンドポイント CLI の使用

```
xConfiguration Provisioning Mode: [must be CUCM]
```

```
xConfiguration Provisioning ExternalManager Address: [the CUCM cluster TFTP server address]
```

```
xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol: [must be HTTP for UCM mode]
```

```
xConfiguration Provisioning HttpMethod: [both GET and POST work in UCM mode]
```

```
xCommand Provisioning CUCM CTL Delete
```

手順 4 : TMS 上でエンドポイントを追加または再追加します

以前に VCS でエンドポイントがプロビジョニングされた場合、エンドポイントはすでに TMS データベースに存在する可能性があります。または、新たに導入することで、新しいエンドポイントとして TMS に追加することもできます。

TMS で初めてエンドポイントを追加する (エンドポイントがプロビジョニングされ、CUCM に登録される)

デバイスが CUCM に登録されていることを確認します。登録されていない場合は TMS に追加できません。CUCM は、TMS にも追加する必要があります。

- CUCM 管理システムにエンドポイントが存在することを確認します

[Systems] > [Navigator] に移動し、TMS 上の CUCM を検索します。

cucm10-pub.tplab1.local
Cisco Unified Communications Manager Status: Alive Address: cucm10-pub.tplab1.local Connectivity: Reachable on LAN

Systems registered to this Unified CM or its cluster are listed below as they are detected by Cisco TMS. The detection process runs continuously.

Summary Settings **Managed Systems** Clustering Connection Permissions Logs

Search

Filter by System Name: Search

System Name	System Type	MAC Address	IP Address
SEP001DA238A79D (System not in TMS)	Cisco TelePresence 500-37	00:1D:A2:38:A7:9E	
SEP005060058026 (System not in TMS)	Cisco TelePresence EX90	E4:C7:22:62:91:89	
SEP00506007021C (System not in TMS)	Cisco TelePresence SX20	00:50:60:07:02:1C	

TMS に追加されていないすべてのエンドポイントは、**System not in TMS** として表示されます。

-- CUCM でプロビジョニングされたエンドポイントを追加します。

TMS のシステム ナビゲータで、[Add system] をクリックし、[Add from Unified CM or TMS] を探します。

Add by Address **Add from Unified CM or TMS** Add Unmanaged Endpoint Add Unmanaged Bridge Pre-register Systems

Unified CM TMS

Select Systems

System Name: Search

	System Name	System Type	MAC Address
<input checked="" type="checkbox"/>	mx200	Cisco TelePresence MX200	00:50:60:05:57:52

1 Results per Page 20

Location Settings

ISDN Zone: local IP Zone: VCSC

注: CUCM の電話機設定で、管理者のユーザ名とパスワードを使用して設定したユーザ名/パスワードは、エンドポイント上の管理者のユーザ名/パスワードと同じにする必要があります。TMS では同じユーザ名/パスワードを使用する必要があります。そうしないと、TMS はユーザ名とパスワードが間違っているというエラーを報告します。

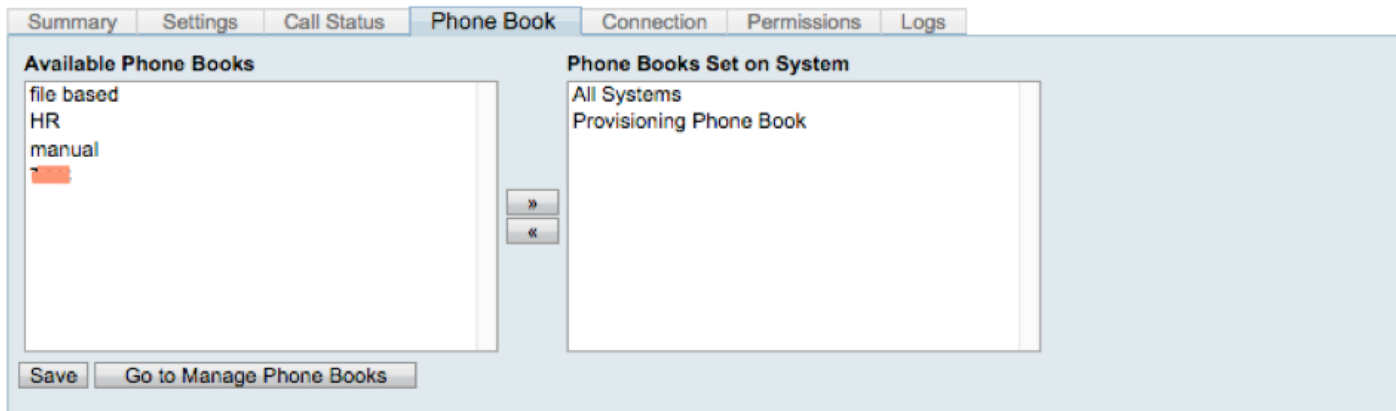
CUCM にプロビジョニングされるように TMS 上にエンドポイントを再度追加する

CUCM にプロビジョニングされるように TMS 上にエンドポイントを再度追加するには、上記の手順に従って、[Add from Unified CM or TMS] を実行します。

手順 5 : 前の手順で追加したエンドポイントに電話帳を割り当てます

TMS 上のエンドポイントに電話帳を割り当てる必要があります。

TMS 上のエンドポイントに移動し、[Phonebook] タブに移動します。



TMS に電話帳を保存すると、電話帳がエンドポイントに表示されます。

確認

エンドポイント上のプロビジョニング ステータスを確認する

- Web インターフェイスを使用します
- を探します。1. Web インターフェイスを使用してエンドポイントにアクセスします
- を探します。2. [Configuration] > [System Status] に移動します。次の画像のように、ステータスには [Provisioned] と表示されます。

Provisioning

Refresh Collapse all Expand all

NextRetry	
Reason	
Server	
Status	Provisioned

- エンドポイント CLI の使用
1. エンドポイントに SSH/ Telnet 接続します。
 2. 管理者ユーザとしてログインします。
 3. `xstatus // provisioning` を実行します。

```
*s Provisioning Software PreviousUpgrade Changed: "2015-05-20T02:36:43Z"  
*s Provisioning Software PreviousUpgrade Message: ""  
*s Provisioning Software PreviousUpgrade Status: None  
*s Provisioning Software PreviousUpgrade URL: ""  
*s Provisioning Software PreviousUpgrade VersionId: ""  
*s Provisioning Software UpgradeStatus LastChange: "2015-07-11T01:06:49Z"  
*s Provisioning Software UpgradeStatus Message: ""  
*s Provisioning Software UpgradeStatus Phase: None  
*s Provisioning Software UpgradeStatus SecondsUntilUpgrade: 0  
*s Provisioning Software UpgradeStatus SessionId: ""  
*s Provisioning Software UpgradeStatus Status: None  
*s Provisioning Software UpgradeStatus URL: ""  
*s Provisioning Software UpgradeStatus VersionId: ""  
*s Provisioning Status: Provisioned  
** end
```

電話帳のステータスを確認する

- エンドポイント CLI の使用
1. エンドポイントに SSH/ Telnet 接続します。
 2. admin ユーザとしてログインします。
 3. xstatus // phonebook を実行します。

```
*s Provisioning CUCM ITL State: Installed  
*s Provisioning CUCM Phonebook URL: "https://10.106.85.203/tms/public/external/phonebook/phonebookservice.asmx"  
*s Provisioning CUCM ProvisionSecurity: Signed
```

これにより、TMS の URL が表示されます。

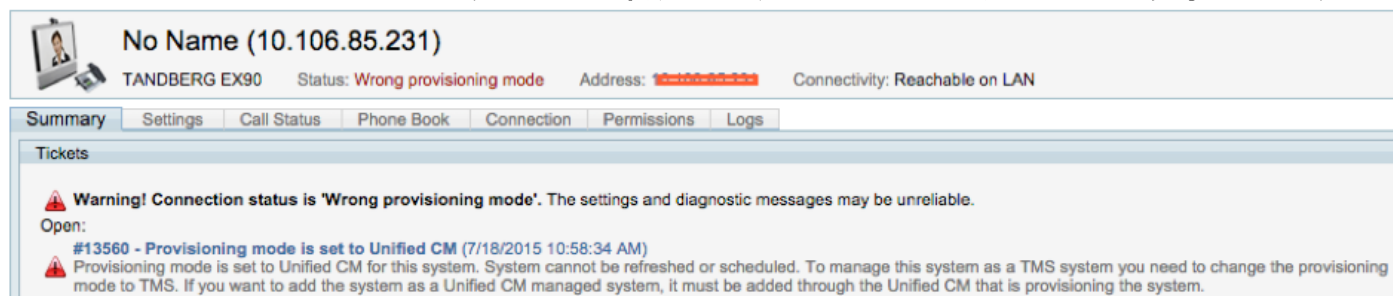
TMS 上のエンドポイントのステータスを確認する

エンドポイントのステータスには、「Connectivity: Reachable on LAN on the TMS」と表示されるはずですが。

エンドポイントを CUCM に登録する必要があります

トラブルシューティング

- TMS でエンドポイントのステータスに間違っ たプロビジョニング モードが表示されます



The screenshot shows a TMS interface for a device named 'No Name (10.106.85.231)'. The device is a TANDBERG EX90. The status is 'Wrong provisioning mode' and the connectivity is 'Reachable on LAN'. Below the status bar, there are tabs for 'Summary', 'Settings', 'Call Status', 'Phone Book', 'Connection', 'Permissions', and 'Logs'. The 'Tickets' section is open, showing a warning message: 'Warning! Connection status is 'Wrong provisioning mode'. The settings and diagnostic messages may be unreliable.' Below the warning, there is a message: 'Open: #13560 - Provisioning mode is set to Unified CM (7/18/2015 10:58:34 AM)'. The message continues: 'Provisioning mode is set to Unified CM for this system. System cannot be refreshed or scheduled. To manage this system as a TMS system you need to change the provisioning mode to TMS. If you want to add the system as a Unified CM managed system, it must be added through the Unified CM that is provisioning the system.'

この問題は、エンドポイントがどのように TMS に追加されたのに関連します。エンドポイントが CUCM でプロビジョニングされる場合、エンドポイントは直接 IP アドレスを使用して TMS に追加すべきではなく、その代わりに TMS 上の Unified CM または TMS から追加してください。

前述の設定手順の手順 4 を使用し、CUCM でプロビジョニングされたエンドポイントを追加する必要があります。

- TMS 上に、「Auto answer is switched off」に関連するメッセージが表示されます



Auto answer is switched off on the system. This means that TMS will not be able to auto connect incoming calls on this system.

エンドポイントが CUCM に追加されたら、要件ごとに自動応答を確実に設定する必要があります。

自動応答に関連する変更を行うために従うべき手順は次のとおりです。

1. CUCM 上で、[Device] > [Phone] からエンドポイントを探します。
2. [Auto Answer] を探します。デフォルトでは、DN の設定で [Auto Answer Off] になっていますが、これを要件ごとに設定します。

Auto Answer*

Auto Answer Off



- TMS 上に、「Wrong username or password」エラーが表示されます。



Cisco TelePresence EX90 Status: Wrong username or password Address: 10.106.85.231 Connectivity: Reachable on LAN Unified CM:

Could not connect to system, the connection could not be made due to: Wrong username or password More...

Summary Settings Call Status Phone Book Connection Permissions Logs

Connection Replace System

この問題は、CUCM とエンドポイント自体におけるエンドポイント設定で、異なるユーザ名とパスワードを指定した場合に発生します。

- ユーザのエンドポイントの設定を確認するには：

1. エンドポイントの Web インターフェイスに移動します
2. [Configuration] > [User Administration] に移動します。
3. ユーザのクレデンシャルを作成または変更します

- CUCM の電話機設定におけるエンドポイントの正しいクレデンシャルを確認するには：

1. CUCM の [Device] > [Phone] に移動し、プロビジョニングしようとしている電話機を選択します。
2. 管理者のユーザ名とパスワードを探します

Admin username and password

Admin Username admin

Admin Password

を探します。正しい情報を入力し、保存して設定を適用します。